

平成30年度 授業改善推進プラン

府中市立矢崎小学校

4年生

学年の児童の実態と課題（学習への取り組み、家庭学習、学習準備状況、など）

元気で気持ちの良い挨拶ができる児童が多い。素直でもあり、学習や学校のルールを守ろうという意識は高い。学習態度も真面目な児童が多い。しかし、学力の差が大きく、学習内容を理解するのに時間がかかり、既習事項が定着していない児童も少なからずいる。ICTを活用しながら可能な限り個別指導をし、学習を続けるように励ましている。また、保護者にも現状を伝え、宿題や授業用ノートに目を通すなどの協力を呼びかけている。また、自分の考えをもち、それを分かりやすく表現したり、友達の発言を受けて自分の考えを広げたり、深めたりすることが不十分なので、様々な場面で話し合い活動を取り入れ、それらの力を伸ばしたい。

各教科

	身に付けさせたい力(伸ばしたい力)	児童の課題を解決していくための工夫	成果と課題(年度末)
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○相手や目的に応じ、調べたことなどについて、筋道を立てて話す力 ○自分の考えを述べたり、友達の考えを聞いたりしながら進行に沿って話し合う力 ○段落相互の関係などに注意して、工夫をしながら文章を書く力 ○登場人物の心情や情景を想像する力。 ○内容の中心をとらえたり、段落相互の関係を考えたりしながら読む力。 ○漢字を正しく読み書きし、日常的に使う習慣。 	<ul style="list-style-type: none"> ○スピーチや、話し合い活動の場を多く設定する。 ○理由や事例などを挙げながら筋道を立てて話したり、友達の考えを聞いて自分と共通点や相違点を考えさせたりする。司会や提案などの役割を経験させる。 ○書こうとすることの中心を明確にし、全体の構成を考えた文章を書けるように指導する。 ○叙述を基に情景や登場人物の心情を読み取ったり、説明文を正確に読んだりできるよう言葉に注目させる。 ○定期的に小テストを行い、新出漢字の定着を図る。全教科の学習で既習漢字を使うことを奨励する。 	
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○資料から必要な情報を読み取り、活用する力 ○社会の事象に対して興味・関心をもって情報収集しようとする力 ○調べたことに対して自分の考えをもち、それを表現する力 ○見たこと、聞いたことをまとめ、表現する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童が興味・関心をもって学習に取り組めるような資料を活用し、必要な情報を読み取る力を付けさせていく。 ○見学などの体験活動や、外部の方の話を聞く機会を積極的に設ける。ニュースなどを通して、社会の出来事に関心をもたせる。 ○学習したことや見たり聞いたりしたことについて感想や意見を文章化させる。 ○学習したことを新聞などの形でまとめ、友達と交流する場を設定する。 	
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○わり算についての理解を深め、わり算の筆算を適切に用いることができる力 ○三角定規、分度器などの道具を正しく扱い、正確に測定したり、作図したりする力 ○平面図形や立体図形について、図形を構成要素に着目して理解する力 ○自分の考えを根拠をもって、説明する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○わり算が用いられる場面を想定させ、筆算の意味を理解させる。筆算の仕方を理解するために、繰り返し練習に取り組ませる。 ○道具の使い方や読み方を適宜振り返りながら測定させる。また、測定した長さや角度は、必ず書かせる。 ○垂直、平行、辺の長さや角度に着目させながら作図させる。また、見取図や展開図、模型等の具体物を用い、理解を深める。 ○既習事項を想起させる時間を確保するとともに、自分の考えを式、図、表、グラフなどを使って書かせ、それを説明させる場面を積極的に設ける。 	
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○問題について予想を立て、解決方法を考え、実験結果と関連させる力 ○自然の事物や事象、実験結果を正しくとらえ、表す力 ○実験結果から考察する力 ○予想したり、考えたりしたことを根拠をもって説明し、交流する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○問題を全体で確認し、既習事項を生かしながら予想したり、解決しようとしたりする態度を育てる。 ○問題、予想、実験方法、結果、まとめなど一通りの流れを全体で確認し、ノートの表し方を指導する。 ○実験結果から分かったことを考えるときは、常に問題に立ち返らせるようにする。 ○理科の用語の使い方や関連する自然事象と触れ合う機会を多く設けるとともに、自分の考えを説明する場面を積極的に設ける。 	

各教科	身に付けさせたい力(伸ばしたい力)	児童の課題を解決していくための工夫	成果と課題(年度末)
体育	<ul style="list-style-type: none"> ○運動を楽しむために、活動を工夫する力 ○自分の運動を振り返り、次のめあてに向かって努力する力 ○安全に留意し、最後まで努力して運動をする態度 	<ul style="list-style-type: none"> ○話し合い活動を重視し、より楽しくなるためのルール作りを行う時間を確保する。 ○学習カードを工夫し、段階的に自分の取り組む練習を明確にさせ、めあてをもって運動することができるようにする。 ○安全に対する意識を高めたり、グループ学習などで技能面、思考面の高まりを目指す。 	
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> ○問題解決のために、進んで取り組む態度 ○友達と協力して学習に取り組む態度 ○多角的に情報を収集し、比較・分析し整理する力 ○調べたことを分かりやすく表現する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○意欲をもって取り組めるような問題を設定する。 ○各自が責任をもって活動するとともに、友達と協力して問題解決の方法を考えたり、取材したり、まとめたりする学習活動を設定する。 ○情報を様々なメディアから集められるような環境を整えるとともに、ワークシートを工夫し集めた情報を整理しやすくする。 ○新聞、模造紙、プレゼンテーションなど、様々な発表方法を教え、相手意識をもってまとめをさせる。また文章だけでなく、絵や写真を活用してまとめることでより分かりやすく伝えることを教える。 	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○歌詞の内容、曲想にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって歌う力 ○音色や響きに気を付けて旋律楽器及び打楽器を演奏する力 ○曲想とその変化を感じ取って聴く力 	<ul style="list-style-type: none"> ○歌詞の内容や楽曲から感じ取ったことや想像したことからどのように歌いたいかを考えさせ、表現に結び付けていく。 ○旋律楽器や打楽器の演奏の仕方を知り、友達の演奏を聴く機会を設けて、きれいな音を探して演奏できるようにする。 ○楽曲から感じ取ったことや想像したことをワークシートにまとめ、発表し合い共有していく。音色・リズム・強弱・速度などの音楽を特徴づけている要素及び反復・呼びかけと答え・変化などの音楽の仕組みのかかわり合いが変わることに注目させる。 	
図工	<ul style="list-style-type: none"> ○自分にとって意味あることや、自分にとっての真実を見付け、精一杯表現しきる力 ○道具に習熟し、さまざまな素材を、自分の力で新しい価値に変える力 ○想いを伝え合う仲間の存在を自覚し、表現の違いに気付いたり互いに尊重し合える力 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近なものを表現活動のモチーフに選ぶことで、色や形などのほかに、重さや匂いなどの実在感を感じながら表現していく場をつくる。 ○地元の竹など手応えのある材料・素材を使い、道具や刃物との本格的な出会いをつくり、じっくり取り組む工作教材を配置する。 ○作品を飾ったり、生活の場で実際に使うことを通じて、他者の視点を意識した、制作や鑑賞の場面をつくる。 	

学年の児童の成果と課題(年度末)

--